



すたかた



苅田町青少年育成町民会議だより



お相撲さんと
もちつき！



11月30日(水)

苅田みどり幼稚園では、お相撲さんを囲んでの「もちつき大会」がありました。

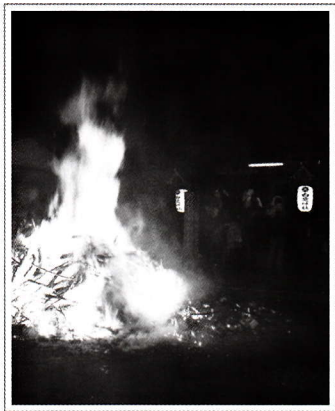
大相撲高砂部屋(元大関朝潮親方)の朝弁慶、朝乃丈というお相撲さんと、相撲界現役最年長記録を持つ松田哲博(元一ノ矢)の3人が訪れ、園児達と一緒に杵を振るい、もちつきをしました。その後のお相撲さんとの触れあいでは、一緒に股割やシコを踏んだり、かかり稽古をするなど直に触れ楽しく遊びました。

また、名物の高砂部屋特性味付けの「ちゃんこ鍋」を食べ、満足いっぱいの園児達でした。「ちゃんこ鍋」は当日の参加者全員に振る舞われ、「おかわり」をする声が続きまいました。

心豊かで
たくましい 青少年の育成を目指しましょう。

～どんど焼き～ 特別補導

2月12日(日)
与原 白庭神社



「今年の暮らしを占う福焼神事」として毎年行われており本年は例年になくパチパチと火花が威勢よく燃え上がり、農作物は豊作のようです。

また、近年いやな事件が多発しております。この「福焼神事」の勢いで、すべての犯罪を追い払って、人々が安全に安心して暮らせる世の中になってほしいものです。

安全を確保する「防犯パトロール」

不審者を捕らえるというよりも、不審者に犯罪の機会を与えないことが目的です。パトロールの姿を数多く見せれば、不審者に「スキのない町」とアピールできます。

荏田町では、町内各種団体等多くの皆様方の協力を得て、防犯パトロールを実施しています。

これは、子どもたちの安全だけでなく、その地域全体の犯罪を未然に防ぐうえでも大変有効です。



◀「有害図書等指導訪問」



▼「少年を守る日補導」



▲「朝の声かけ運動」



荏田町青少年育成町民会議

平成23年度 役員・委員講演会開催

島崎生活安全課長からは、行橋警察署管内の街頭犯罪発生状況について詳しい説明がありました。昨年に比べ、全体の発生件数は減少しているものの、自転車盗、車上ねらいが相変わらず多いこと、荏田町において性犯罪が5件発生している等の報告がありました。特に、福岡県における昨年の少年犯罪は5316件で887件減少してはいるが、非行者率は高く、12年連続で全国ワースト1位であり、福岡県の犯罪撲滅目標(暴力団、飲酒運転、性犯罪)の中で強力に対処していくとのことでした。

また、身近な犯罪として、携帯電話のトラブルや振り込め詐欺等の事例について、具体的にお話しいただきました。

宮川スクールサポーターからは、子どもの問題行動は少年期の特性によって惹き起こされる

というお話がありました。特に中学校に多い暴力行為やいじめ問題については、先生の指導にも限度があることから家庭教育の重要性について指摘がありました。万引き等の少年期の犯罪は、昔の仲間からなかなか抜け出せない、何でも少年課を通じて相談して欲しいという言葉が最後にありました。

会場で配布された資料には、家庭内暴力と反抗期は欲求と忍耐のアンバランス、身体と精神のアンバランスが原因であることとありました。これらのことは、現代社会の有様である豊かさの結果としての飽食や核家族化、労働軽視の風潮と共にあるならば、将に「家庭は、社会の縮図、子どもは親の鏡」私たち大人一人ひとりの生き方が今とわれているかもしれません。



日時・平成24年3月2日
場所・三原文化会館大ホール
講師・行橋警察署
★生活安全課長 島崎浩一氏
★スクールサポーター 宮川高治氏
演題・「安全、安心のまちづくり」
「児童・生徒の問題行動とその対策について」

ストップ・ザ非行 子どもたちのすこやかな成長のために

小・中学生に もっと、体験活動を!



仲間あそび活動・野外活動、スポーツ活動・伝承芸能活動、環境美化活動……



子ども達に多くの体験を与えよう……現代っ子の育つ環境は、テレビ、携帯、ゲーム機等の高度化、過度の情報等が子ども達のあそび、友達づくりが昔とは少しずつ変化している。室内あそびが多いようだ。五感を使った体験の学習が子ども達の育つ発達に満ち足りていないようだ。創造性と危険予知が不足がち、次世代へ繋ぐ子ども達に不安を感じる。

もっと生産的な活動を意識的に体験の場づくりを考えよう……将来に夢を持たせよう……

少年よ 大志を抱け! 困難には成長と自信が含んでいる



■カルタ大会
知的なゲームとチームワークの学習



■通学合宿 生活体験



■自然体験・野外体験 体力、知力、精神力の向上



募集中!
インリーダー(小学生高学年)
ジュニアリーダー(中学生)
連絡先 田口(荻田町子連)
090-4589-3200



■レクリエーションでふれあいと友達づくり

連れ合いに癌の宣告、「ガーン……」。これまで夫婦の老後のことなど真剣に考えたことも無かったです。放心状態で病院の窓から空を見ていたら、下から大勢の子どもたちの声が聞こえてきました。そこは小学校で昼休みでした。声を聞いて、バァーバァは、少しだけ元気になりました。「子どもはいいなあ……時間もたつぷり、輝く未来、限らない可能性も……今のうちにいろんな失敗体験や、成功体験をして「大きく羽ばたけ……」。

でも今の子育てで気になるのは、「自己中心的で我慢することを考えていない……」。

またTV等で子育てに疲れた、子どもの存在がいやになった、などの理由で子どもを殺してしまうようなことが起きています。「どうなっている……」。

子どもは宝物、未来からの授かり物と言われています。バァーバァたちの子どもにも、先人から受け継いだいろいろな「子育て文化」で育てて来たつもりです。現役の親のみなさん、孫のような次世代の子どもに、バァーバァたちから受け継いだものを伝えてほしいのです。

その中の一つ「環境は(が)人を育てる……」っていいですねえ。あなたの「子育て環境」にも関心を持って欲しいのです。「子育てには、近所付き合い、地域とのつながりも大切なんよ……」

バァーバァも、ゆずり葉のように、「若葉が育つと落ちる……」そんな世代ですが、もう少しの間「可愛い子どもたちの笑顔や明るい会話の中に浸っていたいのよ……わがままかしら……」



バァーバァの一言

No.21

今年の家庭教育講演会は「大人の知らないケータイの危険」

1. 日 時 平成24年1月27日(金)
2. 場 所 荻田町中央公民館第5研修室
3. 講 師 寝屋川市教育委員会教育課
指導主事 竹内 和雄 氏
4. 演 題 「大人の知らないケータイの危険」
～主に携帯電話の使い方の取り組み



講演内容をまとめてみると……

○「分からない」「知らなかった」では子どもは救えない！

ケータイ依存症にネットいじめ、ゲーム女子キャラクターに熱をあげる若者、保育園児にケータイを持たせる母親、自分のヌード写真をネット上で売る女子高生…規制する法整備が追いつかない状況。

○できる人ができることから対策を！

寝屋川市では、「ケータイ・ネット問題対策会議」を設けて保護者啓発、子ども自身によるケータイ問題への取り組みを支援。

大人同士がつながり、ケータイ・ネットに詳しい方に相談できる体制を！

○「リアル社会」で愛ある声かけを！

ネット依存の子は、現実社会でさみしい思いをしているためにネットに逃避している。

現実社会が楽しいと思える人間関係づくりを！

- ① 夜の使用時間を決めよう！
「〇時まで」と家族中で決め、それ以降は、家族全員が居間等の充電器に並べて置きましょう。決まっていないと、布団の中でも携帯を触り、いつまでも眠れない場合が多く心配です。
- ② 学校には持って行かない！
学校に携帯電話は必要ありません。授業中もメールや友達のホームページが気になって、勉強どころではなくなります。家の充電器に置いてきましょう。
- ③ 必ずフィルタリングを設定！
設定すると、「出会い系サイト」「アダルトサイト」等、有害サイトにアクセスできなくなり安心。簡単に設定できます。

チカンなどの性犯罪から身を守るために

行橋警察署HPより転載

「被害防止のポイント～特に中高生のみんなに気をつけてほしいこと!!」

夜道ではスキを見せない!

- 後ろを振り返るなど、警戒をアピールする。
- 携帯電話を使ったり音楽を聴いたりしながら歩かない。



カギかけを習慣づける!

- 家に入ったらすぐにカギをかける。
- 寝る前には、玄関や窓のカギを確認する。



周囲に気を配る!

- 書店やエスカレーターでは、後ろに注意する。
- 帰宅時は、カギを開ける前に、周囲を確認する。



防犯グッズを身につける!

- 夜道や人気のない場所を通る時には、すぐに使えるよう手に持っておく。
- 防犯ブザーを鳴らすことが、大声を出すきっかけになります。(防犯ブザーは勇気の源)



被害にあったり、目撃した場合は…

110番通報、またはもよりの警察に通報してください。

どんな小さな情報でも構いません。寄せられた情報が多ければ多いほど、犯人を早く見つけることができます。

・日時・場所・被害内容 ・犯人の特徴(年齢、身長、体格、髪型、服装など) ・使用車両(ナンバー、色、形、車種)

※警察署、警察本部子ども・女性安全対策課(特別捜査係)が、声かけ・つきまとい等の事件を捜査しています。

行橋警察署

福祉体験学習

苅田中学校
1年生

をしました。(1月18・20日)



苅田中一年生は、毎年二学期に苅田町社会福祉協議会と連携して『福祉教育』をおこなっています。本年度は初めての試みとして、町内の福祉施設・ボランティア団体等に生徒が訪問し、利用者やスタッフの方々と直接ふれあう体験活動をおこないました。

十二月から事前学習を始め、各クラス四、六人の班に分かれて、みなさんに喜んでもらえるような活動にしようと生徒自身で準備をしていきました。

当日はとまどいながらも、スタッフの方々、利用者の方々に助けられながら充実した時間を過ごせたようです。

地域の方々のぬくもりを感じることのできた二日間でした。



生徒の感想から

この福祉ボランティア活動をしてみて、スタッフの大切さと、お年よりと接する楽しさを知りました。

お年よりの多い場所では何か優しいことをしてあげたいという気持ちが芽生え、それを行動にうつすことでお年よりは喜び、感謝し笑ってくれて、それを見ると自分達もうれしく思い、また楽しいと思えるということも感じました。

ぼくはボランティアというものはみんなのいのちのためにあると思ってたけれど、本当はものすごく楽しいことで、今回このボランティア活動ができたことを心からうれしく思います。

活動場所 博愛苑 1年2組 油田 真大

お世話になった施設・サークル

博愛苑 在処よってけばあ GOGO

子育て野いちご NPO法人よろこびネット

京町病院デイサービス 朗読会

菜のはな 尾倉小地域活動 提小地域活動

子育て読書会 KANDA手をつなごうネットワーク

ご協力ありがとうございました。

『放課後子どもひろば』紹介①



活動中の子どもたちを見てください。

この事業は、放課後や長期休暇に小学校施設を活用し、安全な子どもの居場所を設け、地域の大人の協力を得ながら、学習や体験活動を行うものです。

★「放課後子どもひろば」では★

放課後、受付を済ませた子どもたちが、勉強をしたり、体育館や運動場で遊んだり、お喋りをしたりと、思い思いの活動を楽しんでいます。

地域みんなで夢・希望・自身を持った、たくましい子どもを育てよう!!

体験は子どもの心の成長にとっても大切です。小さいころからのさまざまな体験を通して、子どもは、感覚を働かせ、運動をし、ものをつくり、想像します。また、さまざまな体験活動を通じて家族や周囲の人々、地域や社会のために何かをすることで、子どもは喜びを感じるといふ、人間としてごく自然なあたたかい感情がわきおこってきます。



《問合せ先》
荇田町役場 子育て支援課
093-588-1036

昔あそび体験

けん玉を作ろう!

用意するもの：紙コップ×3、トイレトペーパーのしん×2、セロテープ、ビニールテープ、はさみ、たこ糸、いらないチラシ

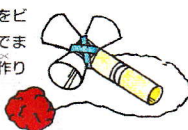
① トイレトペーパーの2つのしんをセロテープでつなぎとめて、8カ所くらいの切りこみをいれます。



② 3つのうち2つの紙コップの底をセロテープでつなぎあわせま。もう1つの紙コップの底を切り落とし、8カ所くらいの切りこみをいれます。



③ いらないチラシを丸めて、中に糸のはしを入れて全体をビニールテープでまきつけて、玉を作ります。



④ それぞれのパーツを図のようにビニールテープでとめます。マジックなどで絵をくれば完成です。

みなさんも作ってみませんか？
けん玉は、集中力が大事です。一生懸命やる子どもはドンドン上手になります。日々の勉強、生活に大いに役にたちます。みなさん、挑戦してみてください。



また、2月1日には、吉廣町長を表敬訪問し表彰の報告をしました。



福岡県から

表彰状

1月27日、多年にわたり、模範となる防犯活動、青少年補導活動など健全育成活動に尽力している当町民会議所属の二団体「行橋警察署少年補導員連絡会荇田支部」が平成23年度福岡県から表彰状を受けました。

2月5日、4歳になる初孫の生活発表会を見させてもらいました。
家では、わんぱくで自分の意思を通すがまな孫が生きてきた表情で仲間と踊ったり、歌ったり。子どもたちの顔は笑顔でなんと可愛いことか。「やればできるんだ」と思うと涙がホロリ...

集団行動に一歩足を踏み入れた孫は、この先いろんな事が起こるでしょう。悪の誘惑に負けない心の強い男の子に育ってほしいと思います。
この子どもたちの将来に幸多かれと願わずにはいられない、おばあちゃんでした。

濱田 勝枝

23年度すこやか編集委員

編集長 松枝 玲子
委員 濱田 勝枝
荒鬼 文子
尾田 弘子
金丸 晴樹
工藤 正志



編集・発行

荇田町青少年育成町民会議

すこやか編集委員会

☎ 093・434・9838

編集後記